平成29年度

学校評価の結果報告

(1学期;学校行事の様子)



(2学期;学校行事の様子)



印西市立印旛中学校

学校教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな心を育み、主体的に行動できる生徒の育成

めざす学校像

- 生徒と教師が生き生きと活動する活気あふれた学校
- 2 さわやかなあいさつと歌声の響く学校
- 3 教育環境が整い、落ち着きのある学校
- 4 家庭、地域、学校が信頼で結ばれている学校

めざす生徒像

- Ⅰ 自ら考え、意欲を持って学習する生徒
- 2 思いやりの気持ちを行動に表す生徒
- 3 自らを律することのできる生徒
- 4 自分で考え判断し、主体的に行動する生徒
- 5 自分の生き方を真剣に考えることのできる生徒

めざす教師像

- Ⅰ 生徒を愛し、生徒とともに歩める教師
- 2 教師として、教育ビジョンを持ち、 常に自分を高めようと努力する教師
- 3 生徒や保護者と真剣に向き合える教師
- 4 生徒の特性やプラス面を引き出せる教師
- 5 組織の一員としての自覚を持って行動できる教師

平成29年度 学校評価

印西市立印旛中学校

「職員,生徒,保護者の評価結果]

上段:今年度 (下段):昨年度

	職員	生徒	保護者	平均
印旛中学校の教育について総合すれば満足している	3.1	3.2	2.9	3.1
	(3.0)	(3.1)	(2.9)	(3.0)

1	教科の学習指導(授業内容, 指導技術など)	2.9	3.2	2.8	3.0
		(2.9)	(3.1)	(2.7)	(2.9)
2	個に応じたきめ細かな学習指導	2.9	3.0	2.5	2.8
		(2.8)	(2.9)	(2.5)	(2.7)
3	心の教育の取組(道徳の授業や体験活動など)	2.9	3.3	2.9	3.0
		(2.9)	(3.2)	(2.9)	(3.0)
4	運動会・合唱コンクールなどの学校行事の取組	3.6	3.7	3.4	3.6
		(3.5)	(3.6)	(3.4)	(3.5)
5	将来の生き方や進路指導の取組	3.0	3.4	2.7	3.0
		(3.0)	(3.2)	(2.7)	(3.0)
6	部活動の指導	3.1	3.3	2.7	3.0
		(3.1)	(3.2)	(2.8)	(3.0)
7	服装やあいさつ等,基本的生活習慣の指導	2.9	3.4	3.1	3.1
		(2.3)	(3.3)	(2.9)	(2.8)
8	交通安全等の取組	3.2	3.4	3.0	3.2
		(3.1)	(3.2)	(2.9)	(3.1)
9	学校からの情報発信(学校だより, 学年だより, HP等)	3.9	3.5	3.2	3.5
		(3.8)	(3.4)	(3.3)	(3.5)
10	校舎や教室のきれいさ	2.8	3.0	3.0	2.9
		(2.5)	(2.8)	(2.9)	(2.7)
11	教師と生徒の人間関係	3.0	3.2	2.9	3.0
		(2.7)	(3.1)	(2.9)	(2.9)
12	子どもに関する心配事や悩み事についての相談	3.0	3.2	2.8	3.0
	-	(3.0)	(3.1)	(2.8)	(3.0)
13	いじめの未然防止、早期発見・早期対応	3.2	3.2	2.7	3.0
	注)今年度より評価項目に採用した。	(/)	(/)	(/)	(/)

最近6か年 印旛中に対する満足度評価 (職員,生徒,保護者の平均)	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
[考 察]	3. 1	3. 0	2. 9	2. 9	3. 0	3. 0

○全体の傾向

- ・総合的な満足度評価は、昨年度と比べると 0.1 ポイント上がった。 3 年連続上昇傾向となった。 各項目における全体の平均評価においても、1 2 項目中 7 項目でポイントが上がった。
- ・保護者、生徒、職員の各項目ごとにポイント差が見られ、各々の考えの違いが評価に現れた。総じて生徒評価は昨年度に引き続き、12項目中全ての項目でポイントが上がった。職員評価では7項目でポイントが上がった。一方、保護者の評価は、2項目でポイントが下がり、4項目で上がった。保護者の評価では、昨年度までとは傾向に変化が見られた。これは、保護者の情報発信に対する評価はわずかながら下がっているものの、学校公開や積極的な情報発信等を通して、学校の様子が保護者に詳細に伝えられたことが評価に反映したと考える。

○課題等

- ・「個に応じたきめ細かな学習指導」における保護者の評価は、依然として厳しい結果となった。保護者の 学習指導への期待・関心度の高さに応えるため、教師の指導力向上を図るとともに、学習形態等を加味し た授業の工夫改善が必要と考える。
- ・「いじめの未然防止,早期発見・早期対応」については、おおむね満足する評価が得られた。今後、さらに高評価につなげていくためには、「教師と生徒の人間関係」や「子どもに関する心配事や悩み事についての相談」の項目に対する取組の充実を図る必要がある。昨年度に引き続き、教育相談の機能を生かした生徒指導の一層の強化を図りながら、生徒と向き合う時間の確保に努める。
- ・「服装やあいさつ等,基本的生活習慣の指導」は昨年度に比べ 0.3 ポイント,「校舎や教室のきれいさ」は 0.2 ポイントが上がった。これは、生徒会活動を中心とした生徒による自治的活動の活性化を図ったことが 成果として現れてきたと考える。今後も、互いの連絡を密にして家庭との連携を図りながら、なお一層の 活動の充実に取り組む。

○今後の方針

- ・保護者の意見欄には、学校に対するご理解や励ましの言葉を多くいただいた。また厳しいご意見やご指摘 については真摯に受け止め、今後の学校運営に反映していく。
- ・今後も保護者や地域に本校の実践活動を見ていただく機会を増やし、保護者・地域との連携強化を図っていく

